

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第6次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

ふりがな	おかやましえん まびはうす		
団体名称	岡山支援 まびhouse		
代表者職名	代表	ふりがな やました きくみ	
		代表者氏名 山下 菊美	㊟
ふりがな	おかやまけんくらしきしあち		
団体住所	岡山県倉敷市阿知		
電話番号		F A X	
設立年もしくは活動年数	2018年9月発足		
スタッフ数	有給スタッフ 0 名・無報酬スタッフ 0 名・ボランティア等 16 名		
団体HP(あれば)	<a href="https://twitter.com/mabihouse0707">https://twitter.com/mabihouse0707</a>		
F B ページ(あれば)	<a href="https://www.facebook.com/mabihouse0707/">https://www.facebook.com/mabihouse0707/</a>		
C A N P A N 登録	なし		
※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)			

申請事業の内容

事業種類・内容 該当する活動に○をつけてください。	①. 災害支援・復興活動(真備エリア) 2. 災害支援・復興活動(県内各地)
事業名 (もしくは事業概要)	岡山支援 まびhouse
活動(予定)期間	平成 30 年 10 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
活動(予定)場所	倉敷市真備町・総社市の仮設住宅及び倉敷市内のコミュニティハウス内
受益者数	直接受益者 ( 500 名) 間接受益者 ( 名) ※いる場合

### 事業の必要性（背景）と目指すゴール（目指す状況）

- ・現状や支援対象者の状況（支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入）
- ・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか

#### 【現状・支援内容】

西日本豪雨から100日以上が経過し、復旧が容易ではない災害だと知りながらも、被災地への関心は日ごとに薄れている。

支援の内容は主に二点。

- ・一点目は物資の支援。物資配布イベントの開催。  
被災地では1階の水没で家財などで失った方が多く、寝具や防寒具もないまま冬を迎えるのかとみんな戦々恐々としている。  
真備町を例にすると行政からの配給は十分とは言えず、暖房器具も揃わぬ中、これでは冬を越せないと感じている。  
物資提供については賛否両論あるが、復興状況として、何もかも義援金で賄うことが出来るものではないと感じている。  
以上のことからまび House では、全国の皆様から募った支援物資を住民に提供をする活動を行う。
- ・二点目はコミュニティ形成・再形成のための場の提供、支援。  
真備町で被災し、みなし仮設住居に住まれている方は、同じ倉敷市内と言えど慣れない土地での暮らしで物理的な孤立（車が被災しスーパーに行けない、かかりつけの病院から遠くなり通えない等）と心理的な孤立（顔見知りがおらず話相手がいらない等）を強く感じている。  
そして、在宅避難者は隣近所が離れていき、かつての地域コミュニティの解消が進み、仮設住宅は知らない住民同士による新たなコミュニティ形成が求められている。  
前述の物資配布イベントでは、バラバラになった真備の方々がお互い存在確認し、情報交換や孤独でないことを確認してもらう場となることを期待できる。  
仮設住宅においては、物資配布時にメンバーがいっせいにチャイムを鳴らして集会所に呼び寄せ、近況報告聞きながら住民の間に入り、初めてのご近所さんになった方との輪を作るお手伝いをする。  
  
月二回のコミュニティ House はお茶会をしながら、みなしや仮設・在宅避難の方が集まり近況報告や情報交換をする場として提供。また手作り品作成のワークショップを実施、販売する。社会に必要とされることを知っていただく機会とする。

### 事業の実施内容

- ・どのようなことをいつ（回数等）やるのか

#### ①コミュニティ house の運営

お茶会をしながら近況報告や情報交換、物資の配布、ワークショップの実施。

- 開催日 第1日曜日・第3水曜日（いずれも11時～15時）
- 場所 〒710-0055 岡山県倉敷市阿知1丁目7-2  
くらしきシティープラザ西ビル2階 倉敷磯の家 内

#### ②物資の配布

仮設住宅・被災地内集会所にて物資の配布

- 開催日 仮設住居への配布は適宜。配布イベントについては月1回程度。

### 事業の実施体制

- ・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

#### 【メンバー】

所属メンバーのうち約半数は被災者で構成されている

被災者と支援者は同等の立場で復興支援を行う

（被災者は特に情報収集やニーズ把握、コミュニティ形成時のキーマンとしての役割）

イベント時は、物資の運搬・配布のために一時的にボランティアを増員

**【連携先団体】**

- ・物資受け入れ倉庫・一時保管場所  
日の出自動車 様  
〒710-0805 倉敷市片島町 1016-5
- ・コミュニティハウス  
倉敷磯の家 様  
〒710-0055 岡山県倉敷市阿知 1 丁目 7-2 くらしきシティープラザ西ビル 2 階
- ・物資提供実績(10 月 29 日現在)  
株式会社 ファーストリテイリング サステナビリティ部 様  
総社市役所 様  
ライオンズクラブ 様

**事業実施後の展望**

- ・助成期間後も活動を継続す場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

助成期間終了後も活動を継続予定。  
メンバーの多くは被災者であることから、費用のかかる大規模なイベントは困難ではあるが、活動を通じてつながった住民などに向け、ニーズに合わせた訪問フォローなどを継続予定。  
コミュニティハウスについても定期的を開催する。

**その他**

- ・その他事業実施にあたり、特に必要なことやPR

当団体のメンバーには被災者の方が多く所属し、被災者目線で被災地に寄り添うグループとして活動をしています。

そしてそのメンバーも災害で変化した環境の中で、自らの仕事や育児、そして災害後の自宅の復興という問題を抱えながらも、明るく主体的に活動しております。

「人の役に立つ」「人から必要とされる」ことは自らの幸せとなり還ってきます。被災当事者が頑張る姿を団体の活動を通じてお見せすることも、「私もちよっと何かしてみようかな」と被災した人が立ち上がるきっかけとなれば良いと考えています。

加えて、災害をきっかけに抱えた孤立・孤独感をひとときでも忘れ、笑顔になるお手伝いをしたいと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。